

平成31年度（2019年度）学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	83		学校名	茨城県立鬼怒商業高等学校				課程	全日制		学校長名	蒔田 巧				
教頭名	長久保 静江						事務（室）長名	棚井 一博								
教職員数	教諭	38	養護教諭	1	常勤講師	4	非常勤講師	4	実習教諭 実習講師 実習助手	4	事務職員	4	技術職員等	5	計	62
生徒数	小学科			1年		2年		3年		4年		合計		合計 クラス数		
				男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
	商業科			51	107	69	86	61	94			181	287	12		
	情報ビジネス科			13	27	11	29	5	35			28	91	3		

2 目指す学校像

本県教育の目標・校訓をふまえ、地域社会の要請に応えながら、人間性豊かな個性の伸長を図り、教養ならびに専門的知識を高め、自主性・自立性を備え、時代の変化やグローバル化に対応できる地域のリーダーとなる人材を育成する。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	分かる授業づくりを推進し、内容の充実を図るために、学力向上推進委員会を組織し、校内研修会・校内授業観察・近隣小中学校の授業視察・校外の研修会への参加等を行った。それらをとおして教員の授業に対する意識が向上し、生徒が生き生きと授業に取り組む姿が見られた。一方で、放課後や長期休業中を利用した課外を行ったり、オリジナルの補助教材を活用しているが基礎学力の定着が十分ではない生徒がいる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学力が向上したという成果を出す。 ○ 学習意欲を向上させる。
生徒指導	服装や頭髮に関する指導は、減少傾向にあり、各種講演会やスクールカウンセラーの活用等を含めた取り組みにより落ち着いた生活ができています。バイクや自転車の事故が数件あった。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 服装頭髮指導は職員の共通認識のもと実施する。 ○ 交通ルール、マナーに関する意識の高揚を図る。 ○ スマホ・ケータイ安全教室の全校生徒対象での実施および、トラブルのないネット利用の啓発。
進路指導	生徒の進路希望に即した進路ガイダンス等の行事・面接・課外指導が実施できた。進路決定率は100%を達成できた。インターンシップは37事業所において105人の生徒が参加し、貴重な学びの場となった。求人対応や関係部署との連携などが良くなった。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の進路実現のため、教員間の連携をより一層高める。 ○ 就職に関して、企業見学や選考のあり方がさらに良くなるための方策を模索する。 ○ 進路情報の生徒へのより迅速な通知と周知徹底と生徒個々に応じたよりきめ細やかな指導を図る。
特別活動	学校行事に関しては、生徒会を中心に生徒が主体的に取り組むようになり、各行事ごとに設定した目標を達成することができた。部活動に関しては、部員数が減少傾向にある。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校行事の見直しを図る。 ○ 部活動の部員数確保と活性化を目指す。

4 中期的目標

本校の目指す学校像を踏まえ、鬼怒商業高校生としての誇りを持ち、地域のリーダーとなって社会に貢献できる人材の育成に努め、活気ある校風の確立を目指す。そのため、次の5項目を努力目標とする。

- 1 生徒の個人的資質の向上に努める。
- 2 専門的知識の育成に努める。
- 3 保護者や地域の期待と信頼に応える学校づくりに努める。
- 4 生徒一人ひとりの学力や個性を伸ばす学校づくりに努める。
- 5 安心・安全な学校づくりに努める。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 生徒の個人的資質の向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の奨励，遅刻・欠席の防止等，基本的生活習慣の徹底やコミュニケーション能力の向上 ・授業・部活・行事など学校教育活動全体を通して生徒の自己肯定感，達成感や学校帰属意識の向上
2 専門的知識の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びのある授業を重視した授業改善と，分かる授業の展開による学力の向上 ・商業に関する専門的知識の修得と実践的・体験的な学習の充実
3 保護者や地域の期待と信頼に応える学校づくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・募集人員の定数確保とキャリア教育充実による進路実現100% ・出前授業やHPを活用した教育活動の効果的な情報発信 ・ボランティア活動や地域でのビジネス活動の充実
4 生徒一人ひとりの学力や個性を伸ばす学校づくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導方針に関する職員全員の共通理解・実践（同じベクトル），モチベーションの向上，風通しの良い職場 ・組織マネジメントを推進し，学年会，教科会，運営委員会，職員会議での活発な意見交換による学校経営・業務の改善
5 安心・安全な学校づくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・体罰・災害等の防止や迅速な対応 ・HR, 授業，二者面談や三者面談を活用しての生徒一人ひとりに対する丁寧な理解